

オプトアウト

研究課題名	保存的治療を受ける大動脈解離患者に対するパンフレットを活用した疾患指導の効果 ～患者の疾患理解や認識が高まることでせん妄が減少するか～
研究実施機関名および 研究責任者（所属科、職名等）	さいたま赤十字病院 看護部 CCU病棟 犬童理佳子
研究代表施設	さいたま赤十字病院
研究期間	2022年11月1日～2025年3月31日
研究の目的と意義	大動脈解離は他の循環器疾患に比べてせん妄発症率が高い。患者の知識不足はせん妄発症の一因であるため、パンフレットを用いた疾患指導を行うことでせん妄の発症率が減少するかを明らかにする。せん妄を予防することは解離の拡大や破裂といった合併症を予防することになり、結果的に治療を円滑に進め、患者の早期回復、早期退院につながる。
本研究の対象となる方	2022年11月1日から2024年9月30日の期間で、当院の循環器内科を受診され、大動脈解離の保存的治療を行った方
提供していただく情報	年齢、性別、既往歴、治療内容、転帰、CAM-ICU、DST
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究 パンフレットを用いた侵襲のない介入研究
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 看護部 CCU病棟 氏名：犬童理佳子、田辺朝香、福本綾華 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1-5 電話：048-852-1111